

専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

講座の名称	経営研究科経営専攻 オンラインMBA履修可													
実施方法	① 通学 (昼間・ 夜間 ・ 土日) ② 通信 スクーリング(回数 回)													
指定講座番号	4	8	0	1	8	—	1	4	2	0	0	1	—	4
講座の創設年月日	専門実践教育訓練給付金 対象講座の指定期間					過 去 一 年 の 講 座 実 績	入講者数(613人)					修了者数 (329人)		
	H18年 4月 1日					H32年 9月 30日まで								
訓練期間	24ヶ月						総訓練時間				432時間			

1. 教育訓練目標

①取得目標とする資格の名称、目標レベル	<input type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 () <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 () <input checked="" type="checkbox"/> 専門職学位 (経営学修士/MBA) <input type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム () <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 () 教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	グロービス経営大学院大学
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	標準履修年限(2年)以上在学し、所定の試験に合格し、所要の授業科目において修了要件単位(36単位)以上を修得すること
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況	日本企業をはじめとしてグローバル企業においても、経営スキルと志豊かなマインドセットをもったマネージャー、リーダー人材は常に渴望されている状態である。本学での学んだ技能・知識が活用されている。

2. 教育訓練の内容

教科 (カリキュラム)	時間	使用教材名
添付資料に示す(※添付資料 様式2-A)	432時間	http://mba.globis.ac.jp/curriculum/curriculum_map.html#sTab
		※使用教材は上記URLにアクセスして、科目名をクリックしてください。 科目ごとに使用教材の記載があります。

3. 受講者となるための要件 (この講座を受講するために必要とされている条件など)

①受講するに当たって必要な実務経験等	大学等を卒業後、原則2年以上のビジネス経験
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	大学卒業程度
③その他	

[特 記 事 項]

--

専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	329 人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	536 人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	536 人	受験率(③/②)	100.0	%
④ ③のうち合格者数	329 人	合格率(④/③)	100.0	%
⑤ ②(入講数)のうち就職者数 ※1	0 人			
⑥ ②(入講数)のうち在職者数 ※2	536 人	就職・在職率(⑤+⑥/②)	100.0	%

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

(2) 受講修了者による講座の評価等

※2017年8月末時点で評価未回収(回収後掲載)

① 回答者総数		人		
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	人	}	②A: 就業者計
	2 非正社員、派遣社員	人		
	3 その他の就業(自営業等)	人		
	4 学生	人	}	②B: 非就業者計
	5 求職中	人		
	6 その他(主婦、無職等)	人		
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	人	}	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	人		
	3 社内外の評価が高まる	人		
	4 円滑な転職に役立つ	人		
	5 趣味・教養に役立つ	人		
	6 その他の効果	人		
	7 特に効果はない	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	人	}	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)
	2 希望の職種・業界で就職できる	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	人		
	4 趣味・教養に役立つ	人		
	5 その他の効果	人		
	6 特に効果はない	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	人	}	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	人		
	4 就職していない	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	人	}	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)
	2 おおむね満足	人		
	3 どちらとも言えない	人		
	4 やや不満	人		
	5 大いに不満	人		

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	各科目ごとにシラバスに定める科目の成績評価基準および別途学則に定める修了要件によって測定
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	

専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

6. 受講効果の把握方法															
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)	6ヶ月で3科目以上受講し、かつ、そのうち3科目は各科目ごとにシラバスに定める評価対象条件の出席回数を満たすこと。(但し、「研究プロジェクト」はその科目の特性上、2科目とカウントする。) かつ、各6ヶ月ごとに累積で以下の単位数以上を修了要件単位として認定されていること。														
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	各科目ごとにシラバスに定める科目の成績評価基準および出席状況によって測定														
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	標準履修年限(2年)以上在学し、所定の試験に合格し、所要の授業科目において修了要件単位(36単位)以上を修得すること														
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	各科目ごとにシラバスに定める科目の成績評価基準および別途学則に定める修了要件によって測定														
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法															
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	MBA/経営学修士またはその他の修士課程を修了した者か、それに準ずる学習歴・職歴を持つスタッフにより、学生からの履修の相談や科目履修上の補助を行う。														
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	要望に応じて受講のガイダンスやキャリア相談を実施														
8. その他の事項															
指定教育訓練実施者名 及び代表者名	学校法人グロービス経営大学院 (代表者名: 堀 義人)														
住所及び連絡先	〒102-0084 東京都千代田区二番町5-1 住友不動産麹町ビル TEL 03 - 5275 - 3981														
施設名称及び施設長名	グロービス経営大学院大学 (施設長: 堀 義人)														
住所及び連絡先	〒102-0084 東京都千代田区二番町5-1 住友不動産麹町ビル TEL 03 - 5275 - 3981														
苦情受付者	氏名 河田 一臣 所属 大学院事務局	事務担当者	氏名 武井 裕江 所属 大学院事務局												
連絡先	TEL 03 - 5275 - 3981	連絡先	TEL 03 - 5275 - 3981												
専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)		2,984,000 円												
支払い方法	① 一括払	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	23,000 円												
	② 分割払	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	円												
③ 両方可			円												
		<table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>第1期</td><td style="text-align: right;">740,250 円</td></tr> <tr><td>第2期</td><td style="text-align: right;">740,250 円</td></tr> <tr><td>第3期</td><td style="text-align: right;">740,250 円</td></tr> <tr><td>第4期</td><td style="text-align: right;">740,250 円</td></tr> <tr><td>第5期</td><td style="text-align: right;">円</td></tr> <tr><td>第6期</td><td style="text-align: right;">円</td></tr> </table>	第1期	740,250 円	第2期	740,250 円	第3期	740,250 円	第4期	740,250 円	第5期	円	第6期	円	円
第1期	740,250 円														
第2期	740,250 円														
第3期	740,250 円														
第4期	740,250 円														
第5期	円														
第6期	円														
		(うち、必須教材費	288,000 円)												
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		0 円												
	① 任意の教材費(税込額)		0 円												
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)		0 円												
	③ 施設維持費(税込額)		0 円												
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)		0 円												
	3. 総額 (1+2) (税込額)		2,984,000 円												

添付資料(様式2-A)

カリキュラム及び時間については、以下の中から履修方法と必要単位を満たす組合せとなります。
18時間の教科は1.5単位、12時間の教科は1単位であり、合計36単位で修了基準を満たします。
※印以外、同じ科目を日本語・英語の両言語で提供しています。

講座の名称: 経営研究科経営専攻
オンラインMBA履修可
指定講座番号: 48018-142001-4

科目群	授業科目の名称	オンライン で開講	時間	履修方法				
				必修	選択必修	選択		
基本	組人 織事	人材マネジメント	●	18	○			
		組織行動とリーダーシップ	●	18	○			
	ンマ グ ・ ケ テ 略 イ	マーケティング・経営戦略基礎	●	18			○	
		経営戦略	●	18	○			
		マーケティングI	●	18	○			
		オペレーション戦略	●	18	○			
	会 計 ・ 財 務	アカウンティング基礎	●	18			○	
		ファイナンス基礎	●	18			○	
		アカウンティングI (財務会計)	●	18	○			
		ファイナンスI (事業戦略と企業財務)	●	18	○			
	思 考	クリティカル・シンキング	●	18		○		
		ビジネス定量分析	●	18		○		
English Management Training ※英語のみ提供		●	12			○		
志	リーダーシップ開発と倫理・価値観	●	18	○				
応用	組人 織事	パワーと影響力	●	18			○	
		リーダーシップとメンタルヘルス ※日本語のみ提供	●	12			○	
	マ グ ・ ケ テ 略 イ ン	マーケティングII (マーケティングの計画と実行)	●	18			○	
		顧客インサイトとブランディング	●	18			○	
		サービス・マネジメント	●	18			○	
		テクノロジー企業経営	●	18			○	
		ネットビジネス戦略	●	18			○	
		アカウンティングII (管理会計)	●	18	○			
	会 務 ・ 財	ファイナンスII (企業価値評価と財務戦略)	●	18			○	
		ファイナンスIII (企業の合併と買収)	●	18			○	
		ファシリテーション&ネゴシエーション	●	18			○	
	思 考	ビジネス・プレゼンテーション	●	18			○	
		企業家リーダーシップ	●	18	○			
		経営道場	●	12	○			
	志	企業の理念と社会的価値	●	18			○	
		ベンチャー・マネジメント	●	18			○	
	展開	創 造	ベンチャーキャピタル&ファイナンス	●	18			○
			ベンチャー戦略プランニング	●	18			○
クリエイティビティと組織マネジメント			●	18			○	
イノベーションによる事業構造変革			●	18			○	
変 革		ストラテジック・リオーガニゼーション	●	18			○	
		ファイナンシャル・リオーガニゼーション	●	18			○	
		新日本の経営	●	18			○	
Japan/As ia/Global		日本・アジア企業のグローバル化戦略	●	18			○	
		グローバル・パースペクティブ	●	18			○	
		異文化マネジメント	●	18			○	
特 別 講 座		ソーシャル・ベンチャー・マネジメント ※日本語のみ提供	●	18			○	
		ファミリービジネス・マネジメント ※日本語のみ提供	●	18			○	
		変革のリーダーシップ ※日本語のみ提供	●	12			○	
		戦略コミュニケーション ※日本語のみ提供	●	12			○	
		リスクマネジメントと企業価値 ※日本語のみ提供	●	12			○	
		Corporate Mentorship Program ※英語のみ提供	●	12			○	
		CEIBS Visit Program ※英語のみ提供	●	18			○	
		ソーシャルメディア・コミュニケーション ※日本語のみ提供	●	18			○	
テ ク ノ ベ ー ト 特 別 講 座	テクノバート・シンキング	●	18			○		
	テクノバート・ストラテジー ※日本語のみ提供	●	18			○		
	デザイン思考と体験価値 ※日本語のみ提供	●	18			○		
	テクノバート概論 ※日本語のみ提供	●	12			○		
	人工知能と経営 ※日本語のみ提供	●	12			○		
	Data-Driven Marketing® with Adobe ※英語のみ提供	●	18			○		
	Strategic Cybersecurity: From Risk to Revolution ※英語・オンラインのみ提供	●	12			○		
その他	研究プロジェクト	●	36			○		